

平成17年5月13日

県政記者会幹事社

東北大学広報課

TEL 022-217-4817・4816・4815

FAX 022-217-4818

第2回東北大学バイオサイエンスシンポジウムのご案内

東北大学におけるバイオ関連の研究科および研究所における研究成果の産業化を見据えた連携を目指し、第2回東北大学バイオサイエンスシンポジウムを2005年5月16日(月)に仙台(仙台国際センター)で開催いたします。このシンポジウムでは、東北大学の特色を十分活かした生命ネットワーク研究振興など、産学官関係者の関心を集める話題を中心に取り上げていきます。その後、東北大学創立100周年を迎える2007年には新たなバイオサイエンスビジョンを提言する予定です。

日時 : 2005年5月16日(月)10時00分~18時30分

開催会場 : 仙台国際センター

(学内講演者)

中山啓子(医学系研究科 教授) : 細胞増殖の制御におけるユビキチン化の役割

神尾好是(農学研究科 教授) : 細胞膜に孔を形成する細菌毒素 - 構造と膜孔形成 機構、及び応用

江刺正喜(工学研究科 教授) : 半導体技術によるMEMSの医療・バイオ応用

安井 明(加齢医学研究所 教授) : DNA修復を視る : DNAの傷に細胞はどのように応答するか

袖岡幹子(多元物質科学研究所 教授) : 細胞内情報伝達を制御する分子をめざして

(学外講演者)

嶋田一夫(東京大学大学院薬学系研究科) : NMRによるタンパク質 - リガンド解析

この他、企業発表3件を予定しております。

問い合わせ先 : 東北大学病院 後藤順一 電話 022-717-7525